



# 横浜市立恩田小学校 学校だより 2月号

発行 令和3年1月29日

恩田小学校  
HP⇒



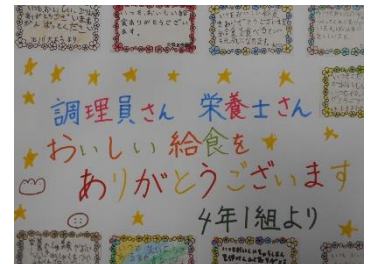
## 給食週間 感謝の気持ちを込めて

校長 古屋 澄人

1月24日から1月30日は全国給食週間です。本校でも給食週間を実施し、日頃から安心・安全、そしておいしい給食を調理している調理員さんに感謝の気持ちを学級毎に寄せ書きにして伝える予定です。令和2年度は給食のスタイルも変わりました。世間では食事中には会話をしない「黙食（もくしょく）」をお願いするレストランや食堂が話題になっています。昨年度までは4、5人のグループにして会話を楽しみながら給食をとっていましたが、7月の給食再開からこの「黙食」をすでに実施し、机を前向きにして会話はしないで食事をしています。「いただきます」までマスクを外さず、食べ終わればすぐにマスクをつけています。トングやおたまは複数の子どもがふれないように配慮し、おかわりを希望する子どもには教員が配っています。初めて給食を経験する1年生は新しい給食のスタイルに戸惑いを感じていないようですが、他の学年の子どもたちは違和感をもちながらもそのスタイルに馴染んできたようです。

調理員は調理する前に「検品」といって食材に問題がないか丁寧にチェックしています。少しでも気になることがあったらすぐに校長へ連絡があがってきます。私はすぐに確認し、必要と判断した場合は市教育委員会へ連絡し、安全を確かめてから調理の再開を指示しています。除去食がある場合は、さらに細心の注意を払って調理します。学校栄養士も同様に栄養バランスやアレルギー対応を調理員と協働しながら、給食の運営に関わっています。

子どもたちの成長を支えている学校給食は、子どもたちが食に関する正しい知識と望ましい食習慣を身に付けるために重要な役割を果たしています。食育として子どもたちの生活経験が一層豊かなものになるように、そして、私たちの食を支えるすべての「ひと、もの、こと」に「感謝」の気持ちをこめて「いただきます」と「ごちそうさまでした」を伝える子どもたちにしていきたいと思います。



1月7日に2回目の緊急事態宣言から3週間が過ぎました。改めて新しい生活様式を意識した教育活動を送ることと同時に、人権尊重の精神を大切にして学校生活を送ることができるようになりたいと思います。緊急事態宣言の延長や新型コロナウイルス感染拡大防止のため、学校行事等の延期、内容変更、そして中止を判断する必要があるかと思っています。どうぞ、ご理解いただきますようよろしくお願いいたします。